

2021年2月22日

国際石油開発帝石株式会社
広報・IRユニット
(電話 03-5572-0233)

Rimba Raya REDD+プロジェクト（インドネシア）の支援及び
カーボンクレジット取得について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、インドネシアの Rimba Raya Biodiversity Reserve REDD+※₁プロジェクト（以下同プロジェクト）を支援することにより、今後5年間で500万トンのカーボンクレジット※₂を取得することを InfiniteEARTH 社（同社）と合意しましたのでお知らせいたします。

※₁ 森林減少・劣化の抑制による CO₂ 排出削減を意味する REDD (Reducing Emissions from Deforestation and forest Degradation) に、森林管理による森林劣化防止や植林などによる炭素ストックの積極的増加を加えたカンクン合意(2010年)の定める概念

※₂ VCS 認証及び CCB 認証を取得。VCS (Verified Carbon Standard) 認証は、国際的なカーボンオフセット基準管理団体 VERRA (米ワシントン DC) がクレジットを認証する基準。CCB (Climate Community & Biodiversity Standard) 認証は、「気候」「コミュニティ」「生物多様性」の3側面すべてのプラスの効果を認証する基準

同社は、2008年からインドネシア中央カリマンタン州で運営する同プロジェクトにおいて、オランウータン保護プログラムを推進するとともに、地域住民の生活向上等を目的として森林保全活動を行っております。同プロジェクトは森林保全活動による CO₂ 吸収によって継続的に国際的な認証を得たカーボンクレジットを創出しています。 (<https://infinite-earth.com/inpex>)

同プロジェクトは、2020年9月、森林保全に加え、雇用・医療・教育・浄水システムの提供等地域社会の基盤整備や、オランウータンの保護等生物多様性保全に取り組んできたことが評価され、世界で初めて SDGs への貢献を証明する SD VISta※₃ 認証を17項目全てで取得しました。

※₃ Sustainable Development Verified Impact Standard : プロジェクトの SDGs への貢献を認証する基準

当社は、今般発表した「今後の事業展開～2050 ネットゼロカーボン社会に向けて～」に基づき、森林保全による CO₂ 吸収により、気候変動対応を推進するとともに、貴重な生物多様性の保全や、地域社会の生活基盤向上に貢献する優良なプロジェクトを支援していきます。

「今後の事業展開～2050 ネットゼロカーボン社会に向けて」

https://www.inpex.co.jp/company/pdf/business_development_strategy.pdf

以上

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

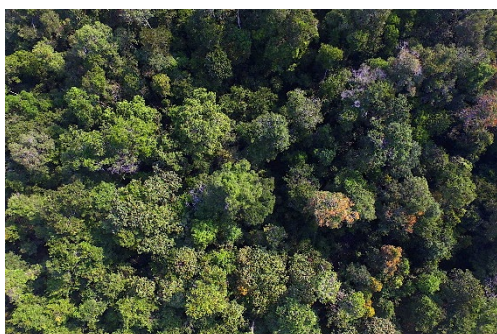
■ InfiniteEARTH Ltd. の概要

所在地： Unit 618, 6/F, New Mandarin Plaza, Tower B, 14 Science Museum Rd.,
Tsimshatsui, Kowloon, Hong Kong

代表者： CEO&Founder Todd Lemon

会社概要： カーボンクレジット創出プロジェクトの国際的な開発会社。2008年に Rimba Raya REDD+プロジェクトを開発するため設立された。同プロジェクトは、インドネシア・中央カリマンタンにおいて、64,977ヘクタールの泥炭湿地林を30年間（2008～2038年）にわたり保護するプロジェクトである。

会社 HP: <https://infinite-earth.com/>



プロジェクト地域の森



プロジェクト地域に生息するオランウータン



プロジェクト地域の位置



プロジェクト地域に対する教育支援



プロジェクト地域に対する浄水システムの支援